

陽

だ

ま

り

通

信

NPO 法人 陽だまり 506-0059 高山市下林町 966-1 電話 0577-36-6520 (FAX 兼用)  
ホームページ [https:// gh-hida.jp /](https://gh-hida.jp/)

グループホーム陽だまり高山市 検索



新春のお慶びを、申し上げます。

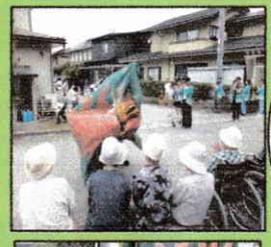
新年、あけましておめでとうございます。年の始まりに際して、地域にお住いの皆様やご家族様、ご関係者様に年頭のご挨拶を申し上げます。日頃は、当所の事業にご理解ご協力をいただきありがとうございます。この年末年始は、5年ぶりとなる9年休ということもあり、皆様にとって良いリフレッシュの機会となったことと思います。今年の干支は、「乙巳(きのとみ)」ということで、柔軟性と適応力を象徴する「乙」と、再生と変化を意味する蛇を表す「巳」が組み合わせられていると言われています。意味するところは、努力を重ね物事を安定させていく縁起の良さを表しており、成長や変革の年とされています。昨年は我が国においても、我慢の続く苦しい一年でした。裏金問題等の政治不信や地震や水害等の数々の災害、未来を展望することへの壁を感じざるをえない一年でした。しかし、一方では、それらの壁に臆することなく立ち向かい、努力したことによって、成長に向けた変革と捉えた人も少なくありません。昨年夏季に行われたパリオリンピックでは、女子やり投げの北口榛花さん等の他、パラリンピックでは車椅子テニス男子シングルの小田凱人さん等日本勢が大活躍され多くのメダルを獲得されました。また、野球選手では、大リーグジャズ移籍後も1シーズンで50本塁打・50盗塁を達成した史上初の選手となった大谷翔平さん。これらの方々は日本中の人々に勇気と希望を与えてくれました。2025年は、介護業界は団魂世代が75歳以上の後期高齢者となる年であり、いよいよ日本も本格的な超高齢社会を迎えると聞きます。そんな中で介護人材の不足が問題になっておりますが、生産性向上による職場環境の改善等立ち向かう課題が山積している中で、「蛇」にならって職員一人ひとりが壁に向き合い、立ち向かい、チャレンジすることで壁を越え、新たな成長へのステージへと向かってまいりたいと思います。今年もよろしく願い申し上げます。

理事長 山本憲久

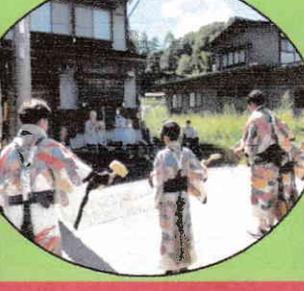
**7月以降の生活の様子(抜粋)**



8月7日、七夕会として、日中、好みの浴衣で過ごし、盆踊りをしたり、お抹茶やお昼はお寿司やそうめん等食べ、楽しみました。



9月上旬頃、山田町や下林町のお祭り衆が、それぞれの日に来てくれ、皆で外で見物しました。お昼に心付けをお渡ししました。お昼はお祭りの料理を食べました。



日中室内では、時には運動会みたいにスプーンリレーをしたり、風船パレーをしたりと楽しんだり、好きな方は貼り絵をされます(この貼り絵は、お月見の貼り絵)。

行ける日は、皆でお散歩に出ます。途中、車庫の前で、一休みさせていただいています。



11月15日(金) おやつを持って、紅葉を観に、古川〜清見に出る「卯の花街道」に出かけました。途中、山頂付近の道の駅で休憩や散歩しながら、彩どる景色を眺めてきました。

**「利用者の皆様が、安心して過ごしていただくために…」**

コロナやインフルエンザ等数々の感染症が、まだまだ流行しています。地震災害のような大きな災害も、これから、いつ起こるとも限りません。こうやって新しい年を無事に迎えられたことに感謝すると共に、この写真で見せてくださる利用者の皆さんの笑顔を忘れず、これからも安心して暮らしの継続がなせるよう職員同士協力し合いながら努めてまいります。ご家族の皆様、地域の皆様何卒お力添えのほど、よろしくお願ひ申し上げます。

居間の戸を開け、外の作業をしている職員から朝顔の花びらを受け取られたところ。皆さん秋晴れのいい天気の日であるからか、外にいる職員にいい笑顔を向けてくださいました。

